

一般質問(2)

田無乳児保育園の存続・活用を  
30人学級でみんながわかる教育を

倉根 康雄(共産)

**質問** 田無乳児保育園は、1年後に開設予定の(仮称)ひばりが丘団地内保育園に統合される。施設の老朽化や耐震度、敷地の一部が都市計画道路にかかっているなど問題や課題があるが、待機児対策と子育て支援の面から施設を廃止せずに活用するため積極的な検討を。  
**答弁** 統合後の待機児の動向を踏まえ調整していく。

**質問** 厚生労働省が認可保育所保育室の面積基準を緩和する方針を明らかにした。本市では、緩和ではなく保育の質の向上を図るべきで、国の方針を受け入れるな。市の対応を伺う。  
**答弁** 市の保育士の配置は、

合併10年の成果を検証し、  
健全な財政運営を図れ

相馬 和弘(民主・社)

**質問** 合併し10年目を迎える。これまでの達成度や課題を検証し、その成果を市民と共有することが大切なのではないか。  
**市長** 新市建設計画でさまざまな事業に取り組んできた。合併市だからこそ、なし遂げることができたものと考えている。

**質問** 新政権のもと、従前の水準まで交付税枠が確保できたことは歓迎するが、臨時債に依存している。今後の見直しはどうか。  
**市長** 第3次行革に取り組み、新たな視点を取り入れ、市債の適正な管理に努める。

**質問** 東京都は「10年後の東京」計画を策定し、さま

1歳児が国の基準以上、その他は同じ基準であり、今後も確保していきたい。  
**質問** 全国で唯一少人数学級を未実施の東京都が、小学1年生と中学1年生に教員を加配し少人数学級を段階的に進める。2010年度は39人以下、11年度は38人以下、12年度は37人以下にし、11年度からは小2も対象。13年度以降は効果などを検証して決める方針だ。  
**市長** 少人数学級の実施は各校の判断としているが、市の対応は。  
**答弁** 市は学級規模の縮小に教員加配を行う予定。  
**意見** 全校30人学級の実施を都に進言せよ。

さまざまなプログラムの予算化をしている。市は積極的に取り込んでいくのか。  
**市長** 都の補助・支援策を効果的に活用することは重要である。情報収集に努め有効に活用する。  
**質問** ごみ減量とリサイクルについて、22年度の具体的な取り組みは何か。  
**市長** レジ袋削減行動計画の策定をはじめ、陶器やベトボトルキヤップのリサイクルへの取り組みに対する協力・支援を検討する。

**質問** 学校施設の適正規模・適正配置について問う。  
**教育長** 地域協議会を立ち上げ、通学区の見直しとともに検討する。



武蔵関5号踏切(富士町4丁目)

高齢化社会への取り組みを！  
いざというときの備えは？

望月 伸光(民主・社)

**質問** 介護従事者の置かれている現状が非常に厳しい中、昨年4月の介護報酬の改定によって処遇改善につながったのか。また、本市で実施したアンケート調査の結果はどうであったか。  
**答弁** 130の事業所から回答があり、81%の事業所が介護従事者の給与等の引き上げを行っているとのこと。給与等が一定程度増加していることがわかった。

**要望** 今回のアンケートで、いくらかは給与の引き上げにつながっていると感じるが、介護従事者の置かれている状況は、まだ厳しい状況にあると伺っている。保

東伏見駅東側「武蔵関5号踏切」  
拡幅整備は南・北の市道整備も！  
二木 孝之(民主・社)

**質問** 現在6mの幅員を10mに拡幅整備、平成22年度から2カ年で踏切内の改修工事を行い、23年度後半に市道整備を予定しているとのことだが、特に踏切南側の市道は踏切近辺のカーブがきつく、踏切南側の歩

道も狭過ぎる。関係機関との慎重な協議を求めます。  
**市長** 詳細については実施設計の際十分な検討をする。  
**質問** 空白地域である東伏見駅周辺への公共施設の開設では、図書館利用者端末を設置しての予約図書

からも国や都に処遇改善を要望していくことを望む。  
**質問** 12月定例会で提案した事業継続計画(BCP)は、21年度中に都が策定予定のガイドラインを活用し、検討すると答弁があったが、年度の変わるこの時期、その概要・計画について伺う。  
**答弁** 大規模災害が発生した場合行政自身も被災する可能性が高い。BCPは、優先的に取り組む重要な業務を継続し、最短で事業の復旧を図る手段等を定める計画で、西東京市地域防災計画に基づいて策定する。



保育環境の整備で  
待機児ゼロを！

桐山 ひとみ(民主・社)

**質問** 厚生労働省は、認可保育所などの居室面積の基準について、待機児童の多い都

市は待機児ゼロを目標に保育園の整備計画に沿って

建て替えによる定員増や定数の弾力化により入所枠の拡大に努めているが、保育の量と質について考えは。  
**答弁** 最低基準の緩和の対象となる「待機児が多い都市部」に本市が該当するかまだ示されていない。保育

し出しも予定しているか。  
**市長** 平成23年度には開設したい。住民票等自動交付機、公共施設予約システム端末設置、予約図書の貸し出し・返却窓口などについて検討を行っている。  
**質問** 私立幼稚園での預かり保育を推進するための補助金制度が示されたが、幼稚園類似施設が預かり保育の先駆けを担ってきたと考

新道交法、知らなくては守れない  
命を守ることを優先に考えた耐震

森 信一(民主・社)

**質問** 自転車による事故の最も多い年齢層は15歳以下で、自転車による死者数の6割以上が65歳以上の高齢者である。一時不停止による出会い頭事故、特に信号

機のない交差点での事故が多い。田無警察署と西東京市が連携して取り組む課題であると思うが、具体的な施策はあるか。  
**市長** 田無警察署及び西東京市交通安全協会の方々と共同で対策を進めている。  
**教育長** スタントマンによる交通安全教室などを企画し、学校における交通安全教育を一層推進していく。

**質問** 耐震改修助成金制度について、命を守ることを最優先に考えるのであるなら、寝室や避難通路となる廊下を優先的に改修することでかなりの防災効果が得られると思うが、一部改修でも助成金が受けられるよ

の量だけでなく保育の質についても目を向け慎重に対応する。  
**質問** 都が4月から待機児童解消のために新たな施策展開として、空き教室や公共施設の空き部屋などの利用、短時間労働者のための短時間保育を実施すると聞く。また、幼保一元化、幼保小連携などの保育支援策がある。市の取り組みは。

**答弁** 品川区では、保育園の5歳児を近隣の小学校の空き教室に移動して保育を行っている。空き教室の利用については、今後調査研究する。22年度に幼稚園での預かり保育の関係の補助金を創設する。この補助金を利用し、制度の拡充をしてほしい。  
**意見** 待機児童解消に向け保育支援の強化を要望する。



みどり保育園(緑町2丁目)



うに制度改正できないか。  
**市長** 住宅の一部への耐震対策、例えば耐震シェルターなど、全部をやるのではなく、費用の問題も含めて、部分的にできるような手法についても、他の区市町村の運用状況等を参考に研究していきたい。  
◇はなバス路線の道路整備について  
◇肺炎球菌ワクチン接種助成金制度の拡充について